

## Press Release

報道関係各位

2023年1月27日

### シュロダー、アクティブ・オーナーシップの強化を目指し 「エンゲージメント・ブループリント」を改訂

シュロダー（本社：英国 ロンドン）は、急速に変化する投資環境においてアクティブ・オーナーシップに効果的に取り組んでいくため、エンゲージメント・ブループリントを改訂、強化したことを発表しました。

2022年に発表したエンゲージメント・ブループリントは、アクティブ・オーナーシップに取り組むにあたり、6つの中核テーマについてシュロダーの目標と取り組み方法を示すものです。中核テーマは、気候変動、コーポレートガバナンス、ダイバーシティ&インクルージョン、人的資本管理、人権、自然資本と生物多様性の6つです。

エンゲージメント・ブループリントの改訂では、「公正な移行」への注力、自然資本と生物多様性に関する期待値の拡大、株主提案を分析するための枠組みの明確化を行いました。

#### シュロダー アクティブ・オーナーシップ ヘッド キンバリー・ルイスのコメント：

「私たちは、企業、顧客、その他主要なステークホルダーに対して、アクティブ・オーナーシップの優先順位を明確に示すことが重要であると考えています。これにより、お客様は私たちがどのようにアクティブ・オーナーシップの責任を果たしていくのかを認識し、企業も私たちが重点的に取り組む分野についてより理解が進むと考えています。私たちは立ち止まるわけにはいきません。最も効果的な方法で変化を促すことができるよう、課題や市場のベストプラクティスの進展に応じて、優先順位と期待値を見直しました。」

#### シュロダー 英国サステナビリティ ヘッド クレア・グレノンのコメント：

「エンゲージメント・ブループリントの強化は、環境の変化と投資家やお客様からのフィードバックを反映したものです。今後も、お客様のポートフォリオが直面する最も重要なリスクと機会に対して前進を促すよう、エンゲージメント・ブループリントの見直しと改善を続けてまいります。」

エンゲージメント・ブループリントの主な変更点は以下の通りです。

#### 公正な移行（Just Transition）への取り組みを強化

ネット・ゼロ社会への移行がもたらす社会的影響への対処をより明確にするため、他の関連テーマ（人権、人的資本管理、ダイバーシティ&インクルージョン）に関連付けています。

#### 自然資本と生物多様性への期待値を拡大

シュロダーは自然資本インベストメント・アライアンスのメンバーであり、2022年に「生物多様性のためのファイナンス宣言（Finance for Biodiversity Pledge）」の署名企業となりました。また、昨年、自然資本や生物多様性に関して、資産運用や自身の業務運営における方針を発表しました。

改訂したエンゲージメント・ブループリントでは、特に森林破壊に関する企業への期待値を拡大しました。これは、独自の調査結果、市場の動向、そしてこのテーマに対するグループ全体のコミットメントを反映したものです。

## 株主提案の枠組み

近年、株主提案に対する注目が高まっています。エンゲージメント・ブループリントでは、4つの質問に沿って、株主提案を分析するための枠組みを示しています。

- 提案はエンゲージメント・ブループリントと整合しているか
- 提案は課題に対処する最善の方法か
- 提案は企業が既に行っていることに価値を付加しているか
- 提案は意図しない有害な結果を引き起こす可能性があるか

エンゲージメント・ブループリントは昨年、Environmental Finance's Sustainable Investment Awards 2022において「ESG engagement initiative of the year」を受賞しました。

以上

## ■シュロダー・グループのESGの取り組み

「質の高いコーポレートガバナンス体制を確立し、本業を通じて、環境や社会の変化および課題解決に対応する企業は、長期的に企業価値の向上と持続的成長が期待できる」という考えのもと、シュロダーは20年以上、ESGの要素を取り込んだ運用を実践しています。

ESGの観点を加味した運用を通じて、社会や環境にインパクトを与える真の企業価値向上を促すと同時に、社会や経済全体の利益となり、投資収益の拡大にも繋がることを目指しています。

## ■シュロダー・グループの概要

シュロダー・グループは、資産運用サービスを通じてよりよい未来への貢献を目指す、英国屈指の独立系資産運用グループです。ロンドン証券取引所に上場しています。1804年の創業以来200年以上にわたり、年金基金から機関投資家、個人投資家まで、世界の投資家に、長期的な視点に立ち幅広い投資ソリューションを提供しています。現在、運用資産総額は約128兆円\*に上ります。

日本とのかかわりは古く、1870年（明治3年）、日本初の鉄道敷設のために日本政府が初めて発行した国債の主幹事を、シュロダーが務めたことにさかのぼります。1974年には東京事務所を開設し、日本における事業の本格的な第一歩を踏み出しました。幅広い資産運用サービスを提供する現在も日本株式運用を事業の中核の一つに据え、約150年前と同様、日本の未来への投資を通じて歴史を紡いでいます。

※2022年6月末現在。\* 7,734億英ポンド、1英ポンド=164.98円換算。

※本資料におけるシュロダー・グループとは、シュロダーplcを直接もしくは間接的に親会社とする会社などを言います。

## 本件に関するお問い合わせ先

シュロダー・インベストメント・マネジメント株式会社 マーケティング部 大沢/菊地

電話：03-5293-1512/03-5293-1328

シュロダーPRデスク SchrodersJapanMediaRelations@schroders.com

シュロダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会